



市議会議員
上田由美子
☎ 68-2106
Fax 68-2146



参議院議員
井上さとし



前衆院議員
藤野保史

能登半島地震

被災者へ市の追加支援

能登半島地震への市の支援が2月9日に追加されました。いずれも申請が必要です。り災証明書を受けてください。

詳しくは、市ホームページを見てください。
い。このQRコードからご覧になれます。



倒壊したブロック塀の収集運搬を市で

倒壊や落下したブロック塀や灯籠などの撤去の際、収集運搬を市が行います。また、すでに収集運搬した費用も支払います。ただし、全額できない場合がありますとのこと。

一部破損世帯にも1万円の見舞金

一部破損世帯に1万円の見舞金を支給します。住宅破損に限ります。全壊、半壊の世帯には県の見舞金に上乗せして、市も支払います(全壊10万円、半壊5万円)。

畦など農業用施設の修繕も対象

液状化で修繕が必要な農業用施設、畦なども支援の対象になります。国、県の支援対象から外れる小規模な復旧は市が支援します。

市民交流プラザの空調設備に被害

新築されたばかりの小矢部市民交流プラザで、地震直後から空調設備が使えなくなる不具合が発生しました。現在は点検修理が終わり全館で使用できるようになっています。1月24日に開かれた臨時市議会・全員協議会で上田由美子市議はこの問題を取り上げました。

【上田市議】小矢部市民交流プラザで、地震後に空調設備が1階で使えなくなっており、2階でも弱くなっていると聞いた。空調設備で何が起ったのか。そして修理の見通しはどうか。

市民交流プラザは完成後まだ3年しか経っていないので、建物の耐震設計や施工に問題があったのではないかと。

室外機内の配管接合カ所に亀裂

【文化スポーツ課長】発災後の現地調査において、交流プラザの屋上に設置されている室外ユニットの内部にあるコンプレッサー、つまり冷媒ガスを圧縮する機械と熱交換器を接

続する配管の接合箇所が、地震による揺れにより、室外機内の配管に負荷がかかり、亀裂が入ったことで、冷媒ガス漏れが起き運転エラーとなったことが故障の原因であると確認している。

修理が完了するまで、ファンヒーターなど6台を配置して対応している。

耐震設計と施工に問題があったのではないかとの質問については、市民交流プラザにおける建築設備の耐震設計は、建築基準法に基づく耐震安全性の目標として、大地震後の人命の安全確保及び2次被害の防止が図られていることを目標に設定して設計されている。

今回の地震による揺れにおいては、すべての室外機本体が架台からの移動や転倒などの機器は見られず、固定されたボルトの緩みや損傷も見えられない状態であった。

空調設備の不具合は、製品として納入された室外機ユニット内部の配管に負荷がかかり、損傷したことが原因である。機器内部まで耐震強度が求められているものではないが、室外機ユニット機器本体の設置においては、転倒などがなく、建築設備の耐震安全性を確保する目標を満たしていることから、建設当時において、適正な設計施工が施されていたものと考えている。

正得地区・道明地内で

防火水槽の工事

正得地区・道明地内で防火水槽の工事が進められています。3月中旬までには完成予定です。

この発端は、正得地区で2022年6月に開かれた市長と語るタウンミーティングで、参加者から「浅地大火(22年3月26日)を経験して道明地域にも初期消火のために防火水槽を」との声が出されたことでした。道明自治

会からも市に要望が出されました。市議選で当選したばかりの上田由美子市議はさっそく、小矢部消防署長や市総務課にも協力を要請していました。

